BCPOS[®]ver.6 ユーザーガイド インストールマニュアル STAR プリンタ版



🔪 🕺 インストールを行う前に必ずお読みください

必ずお読みください!

インストールの際の注意点

- ・インストールを行う前に、必ず全てのプログラムを終了させてください。
- ・新規インストールの場合は、周辺機器を接続しないでください。

再インストール・バージョンアップの際の注意点

・再インストール・バージョンアップを行う場合には、安全のため必ずデータのバックアップを取ってください。 基本的にデータや設定はそのまま残りますが、バックアップを取らずにインストールした場合、データに支障 をきたしても弊社では一切責任を負えませんのでご了承ください。

・再インストール・バージョンアップの場合、BCPOS インストール後の「周辺機器のドライバインストール」(P-8) で、ご利用のパソコンにすでにインストールされているドライバは表示されません。

・BCPOS Ver2.5-2.9-3.0 をご利用の場合、Ver5 ヘバージョンアップする際には、パスワードの再発行が必要となります。パスワード発行手続き及び、周辺機器の確認等させて頂きますので別途お問合せください。

LockStar の番号により、Windows7(64bit)・Windows8 非対応となり交換が必要となります。
 LockStar 番号の確認方法は P-25 を参照してください。

コントロール パネル

既定のプログラム ヘルプとサポート

ファイル名を指定して実行...

● シャットダウン ●

インストールの準備

■ 手順1 (Windows7 の場合)

すべてのプログラム

プログラムとファイルの検索

スタートメニューを開き (画面左下のウインドウズのマークを 押す)「コントロール パネル」を押します。

Q

■ 手順1(Windows8 の場合)

スタートメニュー内の、デスクトップを押してデスクトップを表示し、キーボードの Windows キーと X を同時に押します。



「コントロールパネル」を押します。

	プログラムと機能(<u>F</u>)
	電源オプション(<u>O</u>)
	イベント ビューアー(<u>V</u>)
	システム(<u>Y</u>)
	デバイス マネージャー(<u>M</u>)
	ディスク管理(<u>K</u>)
	コンピューターの管理(<u>G</u>)
	コマンド プロンプト(<u>C</u>)
	コマンド プロンプト (管理者)(<u>A</u>)
	タスク マネージャー(<u>T</u>)
i.	コントロール パネル(<u>P</u>)
	エクスプローラー(<u>E</u>)
	検索(<u>S</u>)
	ファイル名を指定して実行(<u>R</u>)
	デスクトップ(<u>D</u>)
_	

「コントロールパネル」のウインドウが表示されるので、右上の検索窓に「UAC」と入力します。

		すべてのコントロール パネル項目 🕨	T fall UAC	
コンも	ニューターの設定を調整します		表示方法: 大きいアイコン ▼	
	Akamai NetSession Interface 🗆	- 14-		- E
) ントロールパネル	BDE Administrator (32 ビット)	BitLocker ドライブ暗号化	
F	Flash Player (32 ビット)	🐇 Java	MVIDIA コントロール パネル	

■ 手順 3

「ユーザーアカウント制御(UAC)設定の変更」と表示されている項目を押します。

	• 49 UAC ×
アクション センター 😵 ユーザー アカウント制御設定の変更	
● Windows ヘルプとサポートで "UAC" を検索します	

■ 手順 4

「ユーザー アカウント制御」の警告ウインドウが表示されるので「はい(Y)」を押します。

🛞 ユーザー アカウント制御				
💮 次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?				
プログラム名: UserAccountControlSettings 確認済みの発行元: Microsoft Windows				
○ 詳細を表示する(D) はい(ハ)				
これらの通知を表示するタイミングを変更する				

■ 手順 5

左側のバーを一番下の「通知しない」まで動かし「OK」ボタンを押します。

「ユーザーアカウント制御(UAC)」の無効化を行ってから BCPOS のインストールを実行してください。

※「ユーザーアカウント制御(UAC)」を有効にする場合は、BCPOSの設定がすべて完了してから有効にしてください。

・ ユーザー アカウント制御の設定 コンピューターに対す ユーザー アカウント制 の防止に役立ちます。	る変更の通知を受け取るタイミングの選択 御を使用すると、問題を起こす可能性があるプログラムからのコンピューター 	ロロズ の変更
<u>ユーサー アカウント</u> 制 常に通知する		
	 メトの場合でも増知しない: プログラムがソフトウェアをインストールしようと する場合、またはコンピューターに変更を加えよう とする場合 ユーザーが Windows 設定を変更する場合 	E
	 ・ 推奨されません。ユーザー アカウント制卵でサポー トされない、Windows 7 用に保証されていないブ ログラムを使用する場合にのみ選択してください。 	
通知しない		
		セル

インストール $(\mathbf{1})$

各種インストールが終了するまで、周辺機器をパソコン (POS) に接続しないでください 周辺機器の接続は、P-12の「カスタマディスプレイの設定・・・」からとなります。 ※ 再インストール・バージョンアップの場合は、この限りではありません。

1-1 新規インストール (CD-<u>ROM 編)</u> ■ 手順1 BCPOSのCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。 自動再生画面が表示されましたら [setup.exe の実行] を選択してください。 - - -🧓 自動再生 DVD RW ドライブ (C:) Bcpos BO

■ ソフトウェアとゲーム に対しては常に次の動作を行う: メディアからのプログラムのインストール/実行 setup.exe の実行 発行元は指定されていません

全般 のオプション・

フォルダーを開いてファイルを表示 -エクスプローラー使用

コントロール パネルで自動再生の詳細を表示します

■ 手順 2 [セットアップ]が表示されたら[セットアップ]を押します。

セットアップ BC セットアップ ヘルプ 終了 Copyright © BUSICOM Co. Ltd. All Rights Reserved.

1-1 新規インストール(ダウンロード編)

■ 手順1

ショップページより、インストールプログラムを実行します。 ※ご利用環境によって、指定のフォルダにダウンロードさ れています。



■ 手順 2

インストールに必要なファイルを展開する場所の指定画面 が表示されます。特別な理由がない限り、そのまま[OK] を押してください。

展開先の指定		- • 💌
展開先のフォルダを指定してください(<u>F</u>):		
0:¥BCtemp		参照(<u>B</u>)
■書庫名でフォルダを作成(<u>K</u>)	OK	キャンセル

※ここで他のフォルダを指定した場合には、自動的にセット アップが起動しませんので次項の※トラブルシューティン グを実行してセットアップを起動する必要があります。

■ 手順 3

ファイルの展開が完了すると[BCPOS セットアップ]が表示 されます。



上記 [BCPOS セットアップ] ダイアログが表示されなかった場合は次項参照

		1-1 再インストール・バージョンアップの場合
	BCPOS を再-	、 ンストールする場合や <u>新しいバージョンの BCPOS をインストールする場合には、</u>
i	<u>ハードウェア</u>	<u>の環境によって、インストール手順等が異なります。</u>
i	<u>また、Windo</u>	wsOS のバージョンにより周辺機器が対応していない場合がございます。
L	<u>お店に合った</u>	<u>、インストールの手順をご案内差し上げますので巻末のユーザーサポートまでご</u>
L	<u>連絡くださし</u>	<u>。</u> また、インストールから各種ドライバの設定まで約1時間かかりますので、
I –	時間に余裕が	ある時にバージョンアップをする事をお勧めします。
ч —		

盠 🛛 ※ トラブルシューティング (BCPOS インストールが始まらない)

[BCPOS セットアップ] ダイアログが表示されなかった場合 (自動的に BCPOS のセットアップが始まらない場合)

CD-ROM の場合

自動的にセットアップ画面が表示されない場合は、下記手順でインストールを開始します。

■ 手順 1 マイコンピュータを開きます。 (Windows キー +E)



■ 手順 2

CD/DVD ドライブをダブルクリックします。



■ 手順 3 (CD-ROM & WEB 共通) [SETUP] フォルダを開きます。

■ 手順4(CD-ROM & WEB 共通)
 [Setup.exe]ファイルを開きます。
 ※同名ファイルがありますが、BC アイコンのファイルを実行してください。

■ 手順 5 (CD-ROM & WEB 共通) [BCPOS セットアップ]ダイアログが表示 されたら[セットアップ]ボタンを押します。

ダウンロード (Web) の場合

自動的にセットアップ画面が表示されない場合は、下記手順でインストールを開始します。

■ 手順1

マイコンピュータを開きます。

インストール用ファイルを展開したドライブを開きます。

00- F • 375	ı−タ− ,
整理 ▼ システムのブ	'ロパティ プログラムのアンインストールと変更 »
 ☆ お気に入り ▶ ダウンロード ■ デスクトップ 型 最近表示した場所 	▲ ハード ディスク ドライブ (3) ローカルディスク(C:) 空き領域 36.5 GB/48.8 GB ローカルディスク(E:)
■ 千順 0	

■ 手順 2 [BCtemp]フォルダを開きます。

 マママン・コンピューター・ 整理 マ システムのプロパティ プログラムのアンインストールと変更 			
🚖 お気に入り	名前	更新	
<u>↓</u> ダウンロード		201	
■ ノスクトック 3 最近表示した場所	TOOL	201 200	

Goo ♥ ↓ ≪ SETUP ▶	
整理 ▼ ディスクに書き込む	
名前	
👜 instmsiw.exe	
😰 setup.exe	
Setup.ini	



1-2 BCPOS セットアップの実行

■ 手順1

[セットアップ](下図)が表示されたら[セットアップ]を 押します。



■手順 2

[インストールウィザード]が表示されますので[次へ]を 押します。



■ 手順 3

[使用許諾契約]が表示されます。 [使用許諾契約の条項に同意します(A)]に チェックを入れて[次へ]を押します。



■ 手順 4

[ユーザー情報]が表示されたら名前と所属名を入力し [次へ]を押します。※省略可能です。

BCPOS - InstallShield Wizard	— ×
ユーザ情報 情報版を入力してください。	
ユーザ名(U): user	
所属(O): busicom	
T-sh Rithedd	
unstalishield < 戻る(B) 次へ	(N) > キャンセル

■ 手順 5

[インストール先の選択]が表示されますので[次へ] を押します。



■ 手順 6

インストールが開始されます。暫くお待ちください。



■ 手順 7 [セットアップ完了]が表示されます。 [完了]を押します。



■ 手順 8

[確認]ダイアログが表示されます。

[はい]を選択するとパソコンの起動後、自動的に BCPOS が起動する設定になります。

自動的に BCPOS を起動する場合は [はい]、そうでない 場合は [いいえ] を選択してください。



BCPOS 自動起動設定後、セットアップが実行されます。



■ 手順 9

[BCPOS データ更新] が表示され、データが更新されます。 [情報] ダイアログが表示されます。

データ変換が始まらない場合は[F10 実行]を押します。

BCPOSデータ更新	X
データを最新バージョン用の形式に更新します	
MemAttri.DB オープン掛率4 フィールド定義変更のK MemAttri.DB オープン掛率5 フィールド定義変更のK <bcposデータファイル 変更終了=""> <bcpos設定ファイル 変更開始=""> <bcpos設定ファイル 変更終了=""></bcpos設定ファイル></bcpos設定ファイル></bcposデータファイル>	
F1 終了 F10 実	īτ
インストールデ゙ィレクトリ:C:¥BCPOS Ver	3.15

■ 手順 10

[情報]ダイアログが表示され、データ変換を終了します。



以上で BCPOS のインストール及び 自動起動設定は完了です。

使用するレシートプリンタの機種選択

BCPOS のインストール終了後「周辺機器セットアップ」 が表示されます。本書「Star TSP100 シリーズ)版です ので、「スター精密(TSP100)」を選択して「インストール」 を押してください。

- 周辺機器セットアップ	
使用するレシートブ	『リンターを選択し、
インストールボタン	を押してください
レシートプリンター	
○ 使用しない	○ スター精密(TSP100)
○ 富士通(FP-1100)	O EPSON(TMシリーズ)
	※TM-T88IIは動作しません
-11.15 -	T#=77_1__
7)7%-	-唯認方法
インフ	ペトール

次項、周辺機器ドライバのインストールへ進んでください。

🙎 ② 周辺機器のドライバインストール

周辺機器のドライバをインストールします。

※再インストール・バージョンアップの場合、ご利用のパソコンにすでにインストールされている ドライバは表示されません。

■ 手順 1-1

「OPOS Common Control Objects」 が開きますので [Next] を押します。続いて、カスタマディスプレイドライバのインストールが開始されます。



■ 手順 1-2 ファイルの保存先を尋ねられます。 続けて [Next] を押します。



■ 手順 1-3

セットアップタイプが表示されます。

[Complete] にチェックを入れて [Next] を押します。

OPOS Common Control Objects 1.13.001 - InstallShield Wizard

Setup Type
Choose the setup type that best suits your needs.

Please select a setup type.

Omega Complete
Al program features will be installed. (Requires the most disk
space.)

Custom
Choose which program features you want installed and where they
will be installed. Recommended for advanced users.

InstallShield

Cancel

■ 手順 1-4

プログラムをインストールする準備ができました画面が開き ます。[Install]を押します。



■ 手順 1-5

インストールウィザードが完了しましたと画面に表示されま すので [Finish]を押して画面を閉じます。

B OPOS Common Control Ot	bjects 1.13.001 - InstallShield Wizard
	InstallShield Wizard Completed
ざ	The InstallShield Wizard has successfully installed OPOS Common Control Objects 1, 13,001. Click Finish to exit the wizard.
	< Back Finish Cancel

■ 手順 2-1

[Set up ウィザード] が開きますので [次へ] を押します。



■ 手順 2-2

[ユーザー情報]の入力画面になりますので、ユーザー情報を入力して[次へ]を押します。(ユーザー名は必須)

10 TSP100 Setup Version 5.3.0 - InstallShield Wizard	x
Star TSP100-	ŃТ
ユーザ情報 情報を入力してください。	
ユーザ名(U): <mark>username</mark>	
所属(0):	
InstallShield	
< 戻る(<u>B</u>) 次へ(N) > キャンセル	

■ 手順 2-3

セットアップタイプ画面が開きます。 [標準]にチェックを入れて[次へ]を押します。



■ 手順 2-4

プログラムをインストールする準備ができましたが開きます ので [インストール] を押します。



■ 手順 2-5

[InstallShield] ウィザードを完了しましたと表示されますの で[完了]を押して終了します。

😸 TSP100 Setup Version 5.3	.0 - InstallShield Wizard
	InstallShield ウィザードを完了しました
Stor TSP100 -X futurePRNT	InstallShield ウィザードは、TSP100 Setup Version 5.3.0 を 正常にインストールしました。「完了」をクリックして、ウィザードを終 了してください。
	< 戻る(<u>B</u>) 完了(F) キャンセル

■ 手順 3-1

CP210x USB to bridge Drivers Installer が表示されま すので「次へ」を押します。



■ 手順 3-2

使用許諾契約が表示されますので「同意します」に チェックを入れ「次へ」を押します。



■ 手順 3-3

ドライバのインストールが開始されます。



■ 手順 3-4

インストールが完了しましたと画面に表示されますので 「完了」を押します。



■ 手順 4-1

EPSON OPOS ADK セットアップが表示されます。 [次へ]を押してください。



■ 手順 4-2

使用許諾契約が表示されますので [使用許諾契約書の 全条項に同意します] にチェックを入れ [次へ]を押します。

EPSON OPOS ADK Version2.70J APG/CPG1.13
使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深(お読みください。
セイコーエプソン・ソフトウェア使用許諾契約書
このソフトウェアを使用する前に本使用許諾契約書(以下にの契約書)といいます)を慎重にお読みください。 。このソフトウェアをインストール、複製、その他の方法で使用された場合、この契約書上のすべての条件に拘 束され近くに同意したとみなされます。この契約書に同意できない場合は、このソフトウェアの使用をご達 度ください。
1、使用時話・セイューアンノ株式会社(以下「当社」にいます)はお客様(以下「使用者」といえます)に 対し、この契約者に添けされているフレビューターログラム、データ及び付着印刷物(以下ドンフトウアリとい いまする下記の使用条件で使用する権利を注相します。使用者は「ソフトフェリが記述されているデスク」 やその他の記憶爆発を約束することになりますが、「ソフトウェア」に関する最佳権者での他の権利に当社又は 当社のライレマナーが「幕本」でしてまず、使用者はこの契約者によって計述されているはパンフトウェアに関する。
 (使用指指契約の全条項(に同意します(A)) (使用指指契約の条項(に同意しません(D)
instaliShield

■ 手順 4-3

レジストリファイルのインポートが表示されます。 [レジストリファイルは使用しない]にチェックが入ったままで [次へ]を押します。

EPSON OPOS ADK Version2.70J APG	;/CPG1.13
レジスドファイルの使用を選択します。 レジスドリファイルを使用して情報を継承す	る場合は、レジスドリファイルを指定して下さい。
● レジスドリファイルは使用しない(0)	
○ レジスドリファイルを使用する(U)	
n+opuspatareg	SAK (N
InstallShield	
	< 戻る(日) 次へ (N)> キャンセル

■ 手順 4-4

セットアップタイプの選択が表示されますので [ユーザー標準]にチェックを入れて[次へ]を押します。

EPSON OPOS ADK Version2	2.70J APG/CPG1.13
セットアッフ やイフ の選択 ニース に最も適したセットアップ	5/7を選択します。
セットアッフ。タイフ。を選択してく	čč()。
◎ 開発者標準(<u>D</u>)	「ユーザー標準」の構成に加えて、マニュアルとサソフ%フログラムがインストールされます。 開発者は、こちらを選択してください。
◎ ユーザー標準(山)	コントロールオフシェクト、サービスオフシェクト、およびSetupPOSがインストールされます。一 般ユーザーは、こちらを選択してください。
⑦ 肋スタム(<u>C</u>)	インストールするオフションを選択できます。
インストール先のフォルダ C:¥Program Files (x86)* InstallShield	VOPOS¥Epson2 参照(B)-
	< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル

■ 手順 4-5

ファイルコピーの開始が表示されます。 [次へ]を押します。



■ 手順 4-6

使用するポートを選択してください。と表示されますので「 全てのポート」にチェックを入れて[次へ]を押します。

EPSON OPOS ADK Version2.70J APG/CPG1.13	X
使用するホ*ートの選択	N. A.
使用するポートを選択してください。	
 ジリアル オート(S) マ ハラレル ホート(P) マ USB オート(U) マ Ethernet ホート(E) 	
InstallShield	< 戻る(<u>B</u>) 次へ (N)> キャンセル

■ 手順 4-7

セットアップステータスが表示されインストールが開始されま す。

EPSON OPOS ADK Version2.70J APG/CPG1.13	×
\$7}77° X7-\$X	
EPSON OPOS ADK が新しいソフトウェアのインストールを構成中です。	
インストール中_	
C#Program Files (x86)#OPOS#Epson2#GetLogDatabat	
InstallShield	
	キャンセル

■ 手順 4-8

InstallShieldWizard の完了が表示されますので「リリース ノートを表示する」のチェックを外して[完了]を押してくだ さい。

EPSON OPOS ADK Version2.70J APG/CPG1.13	
	InstallShield Wizard の完了 た。 ロバテットアップは、コンピュータへ EPSON OPOS ADK のイソストールを終了しまし た。
	< 戻る(B) 完7 キャンセル

■ 手順 4-9

以上で「周辺機器のドライバのインストール」が終了いたし ました。次に、下図「EPSON OPOS ADK」が表示されます ので、表示させたまま次項「カスタマディスプレイの接続・ ポート確認」へお進みください。



以上で周辺機器のドライバインストール は完了です。

🚺 ③ 周辺機器の設定(カスタマディスプレイ)

3-1 カスタマディスプレイの接続・ポート確認

次にカスタマディスプレイのポート番号を確認します。



※注意※ 上記画面[EPSON OPOS ADK]を表示したままで、カスタマディスプレイをパソコンに接続してください。

レシートプリンタをパソコンに接続すると、

下図がパソコンの右下に表示されます。ステータスを表示する場合は、押してください。



【注意】

[ドライバソフトウェアのインストール] が表示されます。 [Silicon Labs CP210xUSB to UART Bridge(COM ●) インストール] と表示されます。確認等で必用になる場合がありますので、左 [COM ●] の数字をメモ帳等にメモをお願いします。



※ トラブルシューティング (SetupPOS の表示方法)

※ BCPOS のインストールした後、自動的に OPOS の設 定画面になりますが、インストール後に設定し直したい 場合、又は自動的に OPOS 画面にならなかった場合 は Windows スタートボタンから [SetupPOS] を起動して ください。

Windows 画面左下の [スタート] を押し、[プログラム] → [OPOS] → [SetupPOS] を選択し実行し、前項の手 順1から、順番に設定を行ってください。



🜊 🛛 ※ トラブルシューティング (COM の番号がわからなくなった場合)

ポート設定で COM の番号がわからなくなった場合には、Windows のデバイスマネージャーから 確認する事が可能です。下記方法で、デバイスマネージャーから COM ポートの番号を確認してください。

■ 手順1 (Windows7 の場合) スタートメニューを開き(画面左下のウインドウズのマークを 押す)「コントロール パネル」を押します。



[コントロールパネル]内の[デバイスマネージャー]を押し ます。

○○ ゆう つントロールパネル ・	すべてのコントロール パネル項目 🕨		× ,2
コンピューターの設定を調整します		表示方法:大きいアイコン -	
9スクバーと[スタート] メニュ ー	💐 ティスプレイ	デスクトップ ガジェット	
デバイス マネージャー	■ デバイスとプリンター	トラブルシューティング	
ネットワークと共有センター	📗 (#Čø)C	🌛 バックアップと復元	
1.フォーマンスの情報とツール	アォルダー オブション	7821	

■ 手順1(Windows8の場合)

スタートメニュー内のデスクトップを押してデスクトップを表示 し、キーボードの Windows キーと X を同時に押します。下 図が表示されます。

「デバイスマネージャー」を押します。

プログラムと機能(<u>F</u>)
電源オプション(<u>O</u>)
イベント ビューアー(⊻)
システム(<u>Y</u>)
デバイス マネージャー(<u>M</u>)
ディスク管理(<u>K</u>)
コンピューターの管理(<u>G</u>)
コマンド プロンプト(<u>C</u>)
コマンド プロンプト (管理者)(<u>A</u>)
タスク マネージャー(<u>T</u>)
コントロール パネル(<u>P</u>)
エクスプローラー(<u>E</u>)
検索(<u>S</u>)
ファイル名を指定して実行(<u>R</u>)
デスクトップ(<u>D</u>)

■ 手順 2

[デバイスマネージャー]が開きます。[ポート]を押して展開してください。

[Silicon Labs CP210xUSB to UART Bridge(COM ●)]が、カスタマディスプレイの COM の番号になります。 [COM ●] の数字をメモ帳等にメモをお願いします。

🛁 デバイス マネージャー 📃 🔤 🗾
ファイル(<u>E</u>) 操作(<u>A</u>) 表示(⊻) ヘルプ(<u>H</u>)
⊿ 🛃 takeuchi-PC
▷ - 🏺 1394 バス ホスト コントローラー
▷ 🔮 DVD/CD-ROM ドライブ
Star Micronics Port Device
▷ · ==== キーボード
▶ 📲 コンピューター
▶ 🐗 サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラー
▶ 📳 システム デバイス
▶ 💯 セキュリティ デバイス
▷ ";;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;;
▷ 騙 ディスプレイ アダプター
▷ 🔮 ネットワーク アダプター
▷ 🖏 ヒューマン インターフェイス デバイス
▶ 🔲 プロセッサ
▷ 💷 ポータブル デバイス
▷ '' ポート (COM と LPT)
▷ - 🕞 ほかのデバイス
▷ 🖞 マウスとそのほかのポインティング デバイス
▶ ■ モニター
▷ - 🖶 ユニバーサル シリアル バス コントローラー
▷ 🗘 記憶域コントローラー



3-2 カスタマディスプレイの設定

カスタマディスプレイの設定を行います。COM 番号が 5 以上の場合は、設定できるポート番号の範囲 を広げる設定を行い、ポート番号を設定します。

■ 手順1

[EPSON OPOS ADK] が表示されます。

右図 [EPSON OPOS ADK] 画面の表示方法は P-18 参照



■ 手順 2

上部メニューより[オプション]を押して、展開されたメニュー から[ポートの範囲]を押します。



■ 手順 3

[ポートの範囲]が開きます。COM ポートの最大数 ▶ を 押して最大数の[10]に設定してください。 設定が終わりましたら[了解]を押してください。



■ 手順 4

[Line Display]を押して選択します。



- 手順 5
- 上部メニューより[編集]を押して、展開されたメニューから[デバイスの追加]を押します。



デバイスの追加[デバイスの選択]が表示されますので、 「DM-D110」では無い場合 ▼ をクリックしてメニューを展 開して「DM-D110」を選択後「次へ」を押します。

デバイスの追加 [デバイスの選択]
THE / T AN BAN
ーナハイスの垣加 追加するデバイスを選択して下さい(D) 『『『話細な機種を選択してください(M)
COM
デバイスの説明
EPSON DM-D110(PATH) Line Display
INF7rfル名
C:¥PROGRA [*] 2¥OPOS¥Epson2¥LdDMD110.inf 参照(B)
(必要であれば論理デバイ2.名を設定して下さい(最大16文字)(1)
 * 論理デバイスタは必須ではありません。
空欄の場合、論理デバイス名は設定されません。
また、論理テハイス名は後からども設定できます。
< 戻る(B) (次へ(N)> キャンセル ヘルブ(B)

■ 手順 7

[接続形態、接続デバイスの選択]が表示されます。 「単独」で[了解]を押してください。

デバイフク	Netro [デパイフの避却]
776120	
ーデバイ. 追加 DM	スの追加 するデバイスを選択して下さい(D) 詳細な機種を選択してください(M) -0110 ▼ DM-D110 ▼
	/ 接続形態、接続デバイスの選択
デバ EP: INF	イ 50 単独で接続するか、接続する親デバイスを選択してください。(S)
C:¥	P 単独
─ 論理デ 必要 *	2 で 通
	5 キャンセル
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ(H)

デバイスの追加[通信設定]が表示されます。 前項または前々項でメモした COM の番号と同じ番号を [シリアルポートの設定▼]の▼ボタンを押して、プルダ ウンメニューから選択してください。 (COM1 ~ COM10)

	COM3 COM4 COM5 COM6	」を記示ートを使用中のテハイス(G) (なし)	•
-ボートの詳細設定 通信速度(<u>R</u>)	COM7 COM8 9606 Bps	- 入力バッファ長(1)	
ビット長(<u>L</u>)	8 ビット 💌] 出力バッファ長(<u>0</u>)	1024
パリティ(<u>Y</u>)	NONE] 出力時のインターバルタイム(У)	500 msec
ストップビット(<u>T</u>)	1 ビット 💌	入力時のスリープタイム(E)	msec
ハンドシェイク(<u>D</u>)	DTR/DSR -]	

■ 手順 9

[対話式の Check Health]を押してください。

デバイスの追加 [通信	[設定]		×
「シリアルポートの設	定(P)		
	COM7	左記ポートを使用中のデバイス(G)
		(なし)	•
一ポートの詳細設定			
通信速度(<u>R</u>)	9600 bps 💌	入力バッファ長(1)	
ビット長(<u>L</u>)	8 ビット 💌	出力バッファ長(<u>0</u>)	1024
パリティ(Y)	NONE	出力時のインターバルタイム(V)	500 msec
ストップビット(工)	1 ೮୬ト 💌	入力時のスリープタイム(E)	msec
ハンドシェイク(<u>D</u>)	DTR/DSR 💌		
対話式	ູ່ (DCheck Health(C)	デバイス固有の	設定(8)
	< 戻る(<u>B</u>)	終了(E) キャンセル	(H)

■ 手順 10

[LineDisplay Check Health Interactive] が表示されます ので、[実行]を押してください。

※カスタマディスプレイがパソコンに接続されて、 電源が入っている事を確認してください。カスタマ ディスプレイに文字が表示されれば OK です。 [終了]を押してください。

デバイスの追加[通信設定]	×
_ジリアルポートの設定(P)	
LineDisplay CheckHealth Interactive	
CheckHealthを実行する時は実行ボタンを 実行(S)	
ポートの詳細語 終了(C)	
通信速度(R)	
ビット長(1) 8 ビット マ 出力バッファ長(0) 1024	
パリティ(Y) NONE ・ 出力時のインターバルタイム(Y) 500 msec	
ストップビット(T) 1ビット <	
ハンドシェイク(D) DTR/DSR -	
< 戻る(B) 終了(E) キャンセル ヘルプ(H)	

[SetupOPOS]が表示され[Check Health メソッドが正常に 終了しました]と記載されていますので[OK]を押してください。

デバイスの	加 [通信設定]			×
ーシリアル	SetupPOS			
	CheckHealth メソッ	ドが正常に終了しまし	<u>ب</u> د	-
- ポートの	CheckHealthText =	"Interactive HCheck:	Complete"	
通信速	ResultCodeExtende	d = 0 (0x0000000)		
ビット長の)			
パリティ(ОК	msec
ストップt	7 5 1		1	msec
ハンドシ	イク(D) DTR/DSR	•		
	対話式())CheckHealth(C)	Ť	バイス固有の設定(S)	
	< 戻る(<u>B</u>)	終了(E)	キャンセル	ヘルプ(王)

■ 手順 12

デバイスの追加[通信設定]を終了します。 [終了]を押してください。

	COM7	•	左記ポートを使用中のデバイス(④ (なし))	
ポートの詳細設定					
通信速度(<u>R</u>)	9600 bps	•	入力バッファ長(1)		
ビット長(<u>L</u>)	8 Ľット	•	出力バッファ長(<u>0</u>)	1024	
パリティ(Y)	NONE	•	出力時のインターバルタイム(V)	500 msec	
ストップビット(I)	1 ピット	•	入力時のスリーブタイム(E)	msec	
ハンドシェイク(<u>D</u>)	DTR/DSR	•			
[()) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ())		デバイス固有の	設定(8)	

※右図 [レジストリ設定の矛盾の警告]が表示されたら、 [了解]を押して閉じてください。

レジストリ設定の矛盾の警告
OPOSレジストリの設定に矛盾が検出されました。 了解な押すと、自動的に修正が入れます。 自動的に修正をしたくない矛盾設定がある場合は、各矛盾で検出された項目をクリ アにしてから了解名押してください。
検出された矛盾 (無効なLDN ポート設定 ハイドラ設定 不正なハイドラ
1.13.2 = Version (POSPrinter)
項目時の自動修正動作 無効なLDN 無効な論理デバイス名は削除されます。
□ 今後、レジスドリ設定の矛盾を検出しない(D) □ 7解 キャンセル ヘルプ(H)

🜊 🛛 ※ トラブルシューティング (カスタマディスプレイ設定の呼出し)

カスタマディスプレイ設定の呼出し[EPSON OPOS]・チェックヘルスの実行を行う場合は、 下記手順で行ってください。

【カスタマディスプレイ設定 [EPSON OPOS]の呼出し方法】

■ Windows7 の場合

18

スタートメニューを開き (画面左下のウインドウズのマーク を押す)「すべてのプログラム」内の [OPOS] フォルダ [Set upPOS] を押します。

■ Windows8 の場合

スタートメニューまたはデスクトップで、キーボードの Windows キーとQを同時に押します。[すべてのプログラム]が表示されます。[SetupPOS]を押します。



【チェックヘルスの呼出し方法】

プログラムとファイルの検索

■ 手順 1

プログラムを呼び出して [LineDisplay] をダブルクリック します。

Q

シャットダウン 🕨



■ 手順 2





アプリ		
	Tools for Windows Store Apps	電卓
Release Note	Windows App Cert Kit	付箋
SetupPOS Ver2.00	Windows Performance…	<i>ৰ্ব্য</i>
StarMicronics	Windows Software Development Kit	▲ 大モ帳
Configuration Utility TSP100		휓 文字⊐−ド表
Ethernet設定ツール	Snipping Tool	リモートデスクトップ 接続
アンインストール TSP100	Windows FAX とス キャン	J-17/01
	Windows Journal	
Documentation for	Windows Media	Windows 音声認識

■ 手順 3

上部メニューのツールを押して、展開されたメニュー内の [対話式の CheckHealth]を押します。 ※ CheckHealth を実行する場合はカスタマディスプレイを 接続してから実行してください。



<u>④</u> 周辺機器の設定 (レシートプリンタ・ドロア)

4-1 レシートプリンタ・ドロアの接続

レシートプリンタとドロアの設定を行います。レシートプリンタをパソコン (POS) に接続して、 ドロアをレシートプリンタに接続してください。



※注意※ レシートプリンタをパソコンに接続してください。ドロアをプリンタに接続してください。

4-2 レシートプリンタ設定

■ 手順1 (Windows7の場合)

スタートメニューを開き (画面左下のウインドウズのマークを 押)、「すべてのプログラム」内の [Star Micronics] フォル ダ [Star TSP100] フォルダ [Configuration Utility]を押します。

■ 手順1 (Windows8 の場合)

スタートメニューまたはデスクトップで、キーボードの Windows キーとQを同時に押します。[すべてのプログラム] が表示されます。[Configuration Utility]を押します。



※レジロールの紙幅が 80mm と 58 mmで [手順 4] [手順 6] が異なります。 (BCPOSの設定については、周辺機器の設定後、P-24「BCPOS 機種設定」を参照してください)

■ 手順4(プリンタの設定) × 🔣 Star Micronics TSP100 設定ユーティリティ (スターラインモード) ファイル(E) 表示(V) ECO(E) ヘルプ(H) ① インフォメーション プリンタ設定(スターラインモード) star 🚺 プリンタ設定 🖉 ECO設定 文字設定 ⑦ テスト印字 ゼロスタイル 標準 国際文字 日本 OPOS コードページ Normal 🕘 JavaPOS 文字種 日本漢字 💼 シリアルポート i 印字設定 📰 グラフィックデータ 行間設定 4mm Ŧ ロゴ/トリミング 印字密度 100% 🖉 文字列拡張機能 印字速度高速 【レシートが 80 mmの場合】 印字幅 72mm 🔟 Кнанк. 自動再送 51mm メニューから [72mm] を選択します。 ፼∂ ジャーナル/コピー機能 180度反転印字 ・印字設定の[印字幅]プルダウン F フォント変換 適用 閉じる



左メニューより[プリンタ設定]を押します。

□ 文字設定 [国際文字] メニューから[日本]を選択します。 [文字種] メニューから[日本漢字]を選択します。

- □ 印字設定
 - ・印字設定の[印字幅]プルダウン

【レシートが 58 mmの場合】

- メニューから [51mm] を選択します。
- 手順5(レシートの上部余白設定) 左メニューより[ECO 設定]を押します。

□ トッマージン

メニューから [11mm(TSP143U 設定値)] を選 択します。



■ 手順 6-4 【レシートが 80 mmの場合】
 [OPOS デバイス追加]が表示されます。
 [印字幅]の[72mm]にチェックをいれます。
 180dpi 互換モードにもチェックをいれ [OK] を押します。
 ※名前は必ず [Star]と入力してください。

■ 手順 6-4 【レシートが 58 mmの場合】 [OPOS デバイス追加] が表示されます。 [印字幅]の [51mm] にチェックをいれます。 180dpi 互換モードにもチェックをいれ [OK] を押します。 ※名前は必ず [Star] と入力してください。

😽 OPOSデバイス追加	—
新しいデバイス名を入力	ОК
印字幅	キャンセル
💿 72mm 👘 🔘 51mm	
☑ 180dpi互換モード	
Star 🛛	

✓ OPOSデバイス追加
 ✓ 新しいデバイス名を入力
 ○ K
 EP字幅
 ● 51mm
 ✓ 180dpi互換モード
 Star



[OPOS 設定] 画面に戻りますので[適用]を 押します。



■ 手順3(チェックヘルスの実行)
 追加された[Star TSP・・・・]を選択後、
 POS Printerの[チェックヘルス]を押してください。

チェックヘルス画面に[チェックヘルス成功] と表示され、レシートプリンターから印字見 本のレシートが出力され、キャッシュドロワが OPEN すれば設定は終了です。



「適用」を押して「閉じる」を押して終了です。



②-4 BCPOS 機種設定

最後に BCPOS の機種設定を行い、インストール ~ 周辺機器の設定が完了です。

※ロックスターでのご利用時は、次項「USB ロックスター」設定を行ってください。 ※アクティベーション (オンライン) でのご利用時は、P-25「アクティベーション」設定を行ってください。

■ 手順1

デスクトップの BCPOS「開始メニュー」 ショートカットをクリックしてください。



■ 手順 2

[開始メニュー]→[基本設定]→[全般設定]で、全般設定画面が開きますので、上部タブの[機種]を選択します。



■ 手順 3

● ジャーナルプリンタ設定

「ジャーナルプリンタ使用」を[する]に、機種名を[FP1100USBPRT]と設定してください。 ※ LAN プリンター使用時は[FP1100LANPRT_192.168.0.000]の様に、IP アドレスが必要となります

❷カスタマディスプレイ設定

カスタマディスプレイ使用を[する]に、機種名を[DM-D110]と設定してください。

③ドロア設定

ドロア使用 [モジュラー]にチェックを入れ、機種名を [FP1100USBDR1]と設定してください。

④レシート幅設定

80mm レシートの場合 [左下図]に、58mm レシートの場合 [右下図]の様に設定してください。



ーレシート幅選択 C 80mm で <u>58mm</u>

② –5 USB ロックスターの設定(オフライン利用)

インターネット環境が無い場合は、お客様のご契約内容を USB ロックスターと、 パスワードで管理させていただいております。

ご利用期限やご契約いただいたオプション機能の ON/OFF の制御をする為のツールが、 ロックスターであり、パスワードによる契約期間とオプション利用の認識を行っております。

※ ロックスターとパスワードについて ※

ロックスターをコンピュータが認識しないと BCPOS が正常稼動できない仕組みとなっていますので、万が一故障した場合、 新しいロックスターと交換いたします。 再度、パスワードの設定を行うことにより今までどおり使用できます。 尚、故障したロックスターは弊社までご返却をお願いします。(※故障の場合は無償交換となります。)

USB ロックスターのインストール Windows7/Windows10 8.1 8 ではロックスターを USB ポートに挿入すると自動的に認識します。 ※ USB ロックスターを接続する際は、パソコン側の USB 差込口を良く見てから挿してください。 無理に挿そうとすると故障、破損の原因となります。(注:破損の場合は有償交換になります。) ■ 手順1(Windows7の場合) ■ 手順1(Windows10_8.1_8の場合) ロックスターを USB ポートに差し込んでください。 自動的に ロックスターを USB ポートに差し込んでください。 自動的に ハードウェアの認識を開始し、ドライバをインストールします。 ハードウェアの認識を開始し、ドライバをインストールします。 (ステータスの確認はデスクトップから行ってください。) デバイス ドライバー ソフトウェアをインストールしています 🏻 × ステータスを見るには、ここをクリックしてください。 💐 A 殸 🐸 🥩 🐲 🗰 I P 🗑 🎃 e 1 ■ 手順2 ■ 手順 2 ドライバのインストール終了後、完了画面が表示されます。 ドライバのインストール終了後、完了画面は表示されませ 以上でロックスターのインストール作業は終了です。 ん。ステータスを確認するには、デスクトップ画面下のステー タス(下図囲み)を押してください。 デバイスを使用する準備ができました × × デバイス ドライバー ソフトウェアが正しくインストー ルされました。 🖲 A 🕀 😂 🥪 📖 : 91 (1 デバイスの設定 LOCK STAR をインストールしています セットアップが必要なファイルをシステムにインストールするまでお待ちください。これには数分 かかる場合があります。 閉じる

バージョンアップの際の注意点

LockStarUSB は、BCPOS を制御している重要な USB メモリですが、約 2006/04 月以前に発行した物は Windows7(64bit) Windows8 以上に対応していないで、交換が必要となります。(※LockStar の交換は有償となります)



Windows7(64bit).8 については、 約 2006/04 以前に発行された Lock Star USB となりますので交換が必要です。 Lock Star 番号 (~007499)



約 2006/04 以降に発行された Lock Star USB となりますので全ての WindowsOS で動作しますので 交換は不用です。【現行モデル】 Lock Star 番号 (007500 ~)

※LockStar 番号でご判断ください。

②-6 アクティベーションの設定(オンライン利用)

アクティベーションとは、お客様の契約情報を元に、ビジコムで設定した BCPOS の有効期限や オプションの利用権限等を、インターネットを使い BCPOS へ反映させる仕組みで、ロックスターの様に、 次項「③期限パスワードの更新」をお客様が行う必要がない便利な機能です。 これにより、ロックスターでは必用だった定期的な、更新設定が不要となりました。 (※ご利用には、インターネット環境必要です)

アクティベーションキーの設定

アクティベーションの設定は、初回の一度だけとなりますが、パソコンを入換えた場合は必要となります。

■ 手順1

[開始メニュー]から[F6 基本設定]を押します。

🐵 ■開始メニュー		
本店(0001)		
F1 POSレジ起動		F4 TenpoVisor
	F7 業種別管理	F3 各種マスタ
F2 管理画面		F9 メンテナンス
	F6 基本設定	
F8 データ処理	F5 オンライン	F10 終了
		Ver6.00

■ 手順 3

[アクティベーション設定]が開きますので、 「アクティベーション使用」を[する]にして、 [F10 アクティベート]を押します。



■ 手順 2

[基本設定]から[F5 認証設定]を押します。

F2 全般設定	F4 追加基本設定	
F3 消費税設定	F5 認証設定	F1 終了

■ 手順 4

[アクティベーションキー入力画面]が開きますので、 導入時に同封した 【重要:BCPOS アクティベーションキーのお知らせ】 に記載されている 12 桁の数字を入力して下さい。



アクティベーションご利用時の注意点

- ・BCPOS1 台につき1 つのアクティベーションキーとなります。
- ・インターネット接続が無いと、認証が行えず「期限残り〇日」と表示され、最終的にトレーニングモードへ 移行してしまいます。
 (不意なインターネット障害等が発生した場合は、期限残り〇日以内と表示されますが、

期限日以内に障害復旧することで、通常の状態へ戻ります。)

- ・インターネット接続が不要になった場合は、ロックスターへの運用が可能ですので、弊社までお問合せください
- ・「BCPOS アクティベーションキーのお知らせ」を紛失された場合、弊社 WEB サイトの「 お客様ショップページ (マイページ)」にアクティベーションキーを記載しております。

췵 ③ BCPOS トレーニングモード・期限更新

③ – 1 トレーニングモードの使用

トレーニングモードとは、レジ操作に慣れるための練習を行う設定で、レジ画面上部に 「トレーニングモード」と表示され、レシートにもトレーニングモードと印字されます。

日報への書込みをはじめ商品・顧客・在庫・ポイント等の様々なデータを記録しません。 また、本部管理システム「TenpoVisor」をご利用の場合でも、トレーニングモードのデータを送信しません。

「開始メニュー」>「基本設定」>「全般設定」>「初期」

「トレーニングモード設定」【する】にチェックを入れて「F10 更新」を押してください。

🔞 ■開始メニュー		 基本設定
本店 (0001)		
F1 POSレジ起動	F4 TenpoVisor	F2 全般設定 F4 追加基本設定
F7 業種別管理 F2 管理画面	F3 各種マスタ F9 メンテナンス	F3 消費税設定 F5 認証設定 F1 終了
F6 基本設定	E	
F8 データ処理 F5 オンライン	F10 終了	辺期 初期 2 初期3 小計 NON-PLU 機種 メニューバー ディレクトリ 顴客 レシート ライン0SP 印字 業種0P ポイント 店舗設定
	Ver6.	(支店設定時のみ有効)
		店 コード 0001 日付変更時刻 0 時 (0~23時) 移動時使用金額
		税設定 ○ 移動平均 ● 標準原価
		税 率 8 % の切捨 の四捨五入の切上 相利計算使用金額 の 標準原価
		「値5」税種別初期表示
		□ 入金 税種別初期表示
		○外税 ○内税 ○非課税 ○しない ○する ○しない ○する
		□ ○ 外税 ○ 小課税 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
		#註:= 書籍設定 □ ● ● ● ● ● ● ●
		C しない ⊙ する 部門コード 990 総額表示使用
		(数値3桁指定 例:990) ○ しない ○ する
		「書籍使用 未登録書籍売上 」 ★77月日 ↓ 005
		C しない c する (数値3桁指定 例:999) 「新信3(背景:薄 文字:黒) ▼ サンブル
	TAI	■ = "##:#2:39" 1997 - この近期 - このよい社 このののロローにによった、「このそうようい」につ頭の - このよい - このそうなつい」につ画を
		F1初期3 S_F2初期2 S_F4機種 S_F6本*介ト S_F7業種 S_F9印字 文字

🔬 ※ トラブルシューティング(レジ画面に周辺機器の〇〇〇エラーと表示される)

[対処方法]

① 周辺機器の電源を切り、パソコンとの接続ケーブルを抜き差しして電源を入れます。

② BCPOS のレジ画面を開き直してください。

盠 🛛 ※ トラブルシューティング(レジ画面がトレーニングモードになる)

レジ画面がトレーニングモードになる場合には、下記の事項が該当します。

① ロックスターが抜けている。 >> ロックスターを一旦抜いて、再度差込んでください。

- ② ロックスターが認識されない。>> ロックスターを一旦抜いて、別の USB ポートに接続してください。
- ③ 期限パスワードが切れている。>> 次項 [期限パスワードの更新]を実行してください。

※上記手順で①・②・③を実行して改善されない場合は、巻末のサポートデスクへご連絡ください。

③-2 期限パスワードの更新(アクティベーション利用時は不要です)

期限パスワードとは BCPOS 使用権の有効期限を設定するためのパスワードです。 レントウェアでご利用の場合、半年または1年毎にパスワードを入力して、 利用可能期限を更新する必要があります。 (買取の場合は購入時に1度パスワードを入力します。)

各種オプションに変更があった場合はその都度になります。 (買取の場合もオプションに変更があった場合は必要です。)

通常、レントウエアのご契約を更新する場合、期限が切れる前に新しいパスワードを郵送でお送りします。 (買取でご利用の場合はこの限りではございません。)

期限パスワードを更新することにより、利用期間の延長やオプションの変更を行います。

期限パスワードの設定

■ 手順1

■ 手順 2

%

+

T

Н

■ 手順 4

[開始メニュー]から[レジ画面起動]を押します。 [レジ画面]右下テンキー部分の[H]を押します。

[ヘルプ画面]内の[期限 PW 設定]を押します。

🗐 ■開始メニュー			
本店 (0001)			
F1 POSレジ起動		F4 TenpoVisor	
F2 管理画面	F7 業種別管理	F3 各種マスタ	
		F9 メンテナンス	
	F6 基本設定		
F8 データ処理	F5 オンライン	F10 終了	
		Ver6.00	

タッチ版 額





■ 手順 3

[管理画面]が開きますので、上部タブより [ヘルプ]を押します。

管理 フリー	- ヘルブ	
不明	直前レシート発行	
日報	ジャーナル点検	
商品登録	商品リスト	

管理 フリー ヘルブ

	a second second
ヘルブ	バージョン情報
オプション情報	認証設定

■ 手順 5

[期限パスワード設定]画面の中央[パスワード]入力欄に、弊社より郵送された「期限パスワード」を入力して [F10 実行]を押してください。



バージョンアップの際の注意点

BCPOS Ver2.5-2.9-3.0 をご利用の場合、 Ver6.0 ヘバージョンアップする際には、 パスワードの再発行が必要となりますので、 別途お問合せください。

※ご注意※

期限パスワードはロックスター(ソフトの鍵)が接続されていないと設定できません。 また、期限パスワードは1日に10回しか入力実行できませんのでご注意ください。

BCPO<u>S</u> ver 6.0 動作環境

BCPOS の動作環境は以下のとおりです。

	最低	推奨	
0 S	Windows7 (32&64Bit) , Windows8 (32&64Bit)	, Windows8.1(32&64Bit) , Windows10(32&64Bit)	
CPU	Celeron 2GHz 以上	Core2Duo 2GHz 以上	
メモリ	2GB 以上	4 GB 以上	
ハードディスク空き容量	1GB 以上	10GB 以上	
ディスプレイ解像度	800×600px以上		
バーコードリーダー	ビジコム : BCN-1200U (USB タイプ)		
対応カスタマディスプレイ	ビジコム : BC-VF シリーズ(EPSON : DM-D110、210 シリーズ準拠品)		
対応キャッシュドロア	ビジコム : BC-DW シリーズ(6 ピンモジュラータイプ、RS-232C タイプ)		
対応レシートプリンタ	富士通アイソテック : FP-1100 スター精密 : TSP100 シリーズ(注1) EPSON : TM - T 88 皿~Vシリーズ(注2)		

注1: スター精密: TSP100 シリーズの LAN タイプは未対応です

注 2: EPSON: TM - T 88 シリーズの USB・LAN タイプは未対応です

※外部機器を接続する場合、シリアルポートのあるものを推奨します

無い場合には別途 USB シリアル変換コードが必要になりますのでお問い合わせ下さい

ご注意 〇本書及びこのプログラムは著作権上、無断で使用・複製することはできません 〇本製品の内容について万一不備な内容がございましたら下記までご連絡ください 〇本書及びこのプログラムの内容は、予告なしに変更することがございます

> BCPOS は株式会社ビジコムの登録商標です Windows7,Windows8,Windows8.1,Windows10 は米国マイクロソフト社の登録商標です その他、記載された製品名は各社の商標または登録商標です

発行 株式会社ビジコム

Web : http://www.busicom.co.jp/ E-Mail : info@busicom.co.jp

BCPOS インストールガイド